

幸福宣言都市  
“とよた”発

地域密着型福祉全国セミナー in 豊田

# つなげよう 地域の“<sup>ゆい</sup>結”の輪

～おいでん! <sup>ゆい</sup>ともに <sup>ゆい</sup>よりそい <sup>ゆい</sup>たすけあう まちへ～

さまざまな立場の方や関係機関が横につながり、住民一人ひとりが、互いを理解し、考え、行動する「住民が主役のまち」と「<sup>ゆい</sup>ともに <sup>ゆい</sup>よりそい <sup>ゆい</sup>たすけあうまち」の実現を目指して、具体的な住民主体のまちづくりのあり方を探り、豊田市が目指す地域福祉の方向性を発信すべく全国セミナーを開催します。



ゆい  
“結”とは...

支え合いという意味の言葉です。

今回、豊田市では、  
「古き良き日本の助け合いの再構築」と  
「新たな支え合いを結ぶ」という意味を  
“結”という言葉に込めました。

2014年

開催日

1月18日<sup>土</sup>・19日<sup>日</sup>

会場

第1日目(全体会) 豊田市コンサートホール(13:00～17:45)

第2日目(分科会) 豊田市福祉センター(9:30～12:30)

主催:「地域密着型福祉全国セミナー in 豊田」実行委員会

共催: 豊田市、(社)豊田市社会福祉協議会、(特非)全国コミュニティライフサポートセンター

後援: (社)愛知県社会福祉協議会、豊田市区長会、豊田市民生委員児童委員協議会

協力: JAあいち豊田助け合いの会「ふれあいの輪」、あいち防災リーダー会(三河)、石畳自治区、NPO法人 愛知ネット、NPO法人 視覚障害者センターつえの里

NPO法人 コートピア若宮、(公財)あすて、(公財)豊田市国際交流協会、(公財)豊田市文化振興財団 総務部交流館課、(公財)豊田市文化振興財団 豊田市青少年センター  
交流サロン「五えん」の会、(社)豊田市福祉事業団、豊田災害ボランティアコーディネーター連絡会、豊田市教育委員会、豊田市社会部市民安全室 防災対策課  
(一社)豊田青年会議所、豊田市赤十字奉仕団、豊田市ファミリー・サービス・クラブ、豊田市民生委員児童委員協議会、豊南地区民生委員児童委員協議会、とよた市民活動センター  
トヨタ自動車(株)トヨタボランティアセンター、トヨタ自動車労働組合TUV、トヨタ生活協同組合、トヨタ紡織ボランティアセンター、パスまちサロン会 (順不同)

Supported by  THE NIPPON FOUNDATION

## 開催趣旨

“支え合いのまちづくり”の実現は「ひとごと」ではなく、「わたくしごと」として、自分たちのまちへ関心を示し、身近な地域で自分ができることを考えることから始まるのではないのでしょうか。  
このセミナーでは、地域で暮らすさまざまな人たちが「個を認め合うことのたいせつさ」と「ともに生きている（共生）ことの自覚」に気づき、「わたし個人の問題」ではなく「わたしたち地域の問題」として認識し、地域の課題解決のために、自分たちの手で支え合う地域をどのようにつくっていくかについて考えていきます。

## プログラム 1日目 1/18(土)

# 全 体 会 (豊田市コンサートホール)

12:00～13:00	受付開始
13:00～13:20	<p>●開会宣言 「地域密着型福祉全国セミナーin豊田」実行委員会 実行委員長(社会福祉法人 豊田市社会福祉協議会 会長) 宇井 銀之 豊田市 市長 太田 稔彦</p> <p>●来賓祝辞 ●趣旨説明 社会福祉法人 豊田市社会福祉協議会 常務理事・事務局長 長嶋 鋭治</p>
オープニング セレモニー	
13:20～14:30	<p><b>「寄り添い、助け合う人が住むまちづくりを目指して～わたし発あなたへ！そして地域へ～」</b> このシンポジウムでは、核家族化や少子高齢・人口減少社会が加速し、近隣住民同士の希薄化が進むなかで、地域における支え合い活動のたいせつな視点として、「知り合うこと」、「寄り添うこと」、「助け合うこと」の必要性を考えます。</p> <p>コーディネーター 市民福祉教育研究所(岐阜県関市) 主 宰 阪野 貢</p> <p>シンポジスト 石畳自治区 区 長 峯 光義 特定非営利活動法人 ユートピア若宮 理事長 木本 光宣 社会福祉法人 豊田市社会福祉協議会 地域福祉課 課 長 中田 繁美</p>
豊田 シンポジウム	
14:30～14:40	休憩
14:40～16:10	<p><b>「地域力とは一住民が主役の地域から見る“支え合い”の本質！一」</b> このシンポジウムでは、自分の暮らす地域での地域課題や福祉課題から、住民自ら動いてできた支え合い活動事例をもとに、『支え合いの「合い」』にある支える側と支えられる側の双方が理解し合うことから生まれる支え合いの本質について迫ります。</p> <p>コーディネーター 特定非営利活動法人 全国コミュニティライフサポートセンター(宮城県仙台市) 理事長 池田 昌弘</p> <p>シンポジスト ボランティアグループすずの会(神奈川県川崎市) 代 表 鈴木 恵子 塙山学区住みよいまちをつくる会(茨城県日立市) 会 長 西村ミチ江 社会福祉法人 藤里町社会福祉協議会(秋田県藤里町) 事務局長 菊池まゆみ</p>
全国 シンポジウム	
16:10～16:20	休憩
16:20～17:30	<p><b>「行政と地域の役割ー横断的なつながりの先にあるものとはー」</b> この鼎談では、国の動向、行政の役割と地域や住民の役割について考え、さまざまな立場の人や窓口が横断的につながり、公と地域の「きょうどう」による「共に」「協力し合い」「地域力を強め合う」まちと地域福祉のあり方を考えます。</p> <p>鼎 談 者 厚生労働省 大臣官房審議官 古都 賢一 同志社大学 教 授 上野谷加代子 豊田市 市 長 太田 稔彦</p>
てい だん 鼎 談	
17:30～17:45	●1日目の閉会挨拶 「地域密着型福祉全国セミナーin豊田」実行委員会 副実行委員長 山村 史子
18:30～20:00	交流会 場所:名鉄トヨタホテル

## ● 活 動 紹 介 ●

### 全国シンポジウム

#### ボランティアグループすずの会

「ちょっと困った時に、気軽に鈴を鳴らしてほしい」そんな思いを込めてスタートしたボランティアグループ。地域のさまざまな自主活動団体、関係機関、専門職、地縁団体と、ネットワークを組み、地域全体で、地域の課題に取り組む。野川南台団地や野川西団地を含む地域が活動の場で、歩いて数分の近所の方が気軽に個人宅に集まる「ダイヤモンドクラブ」を開催したり、見守りが必要な人を把握するマップづくりを行っている。

#### 塙山学区住みよいまちをつくる会

まずお互いが顔見知りになることから始めようと、スポーツ大会を催すことから始まり、会報「かわら版」の月刊発行・全戸配布、夏祭り「さんさん祭り」やフリーマーケット「ゴチャッペ市」など開催。全住民対象のアンケート調査を行い、まちのニーズや地域課題を把握。郵便局の誘致やコミュニティセンター建設運動なども行う一方、防犯灯の増設やため池の公園化など生活環境の整備にも力を入れる。自分たちの暮らしを豊かにするために労力も懐も分け合う自立心旺盛な地域。

#### 社会福祉法人 藤里町社会福祉協議会

2005年「地域福祉トータルケア推進事業」のモデル地区に指定されたことを契機に、相談・生活支援システムの構築、人づくり、生きがい・喜びづくりなど地域活性化による福祉でまちづくりへの取り組みを開始。なかでもひきこもりの状態にある人々の自立・就労を支援するための中間施設「こみっと」は秋田県内外から注目されている。「福祉でまちづくり」のスローガンのもと、町の特産品「しらかみまいたけキッシュ」の開発と販売にも取り組む。

9:00～9:30

受付開始

## 第1分科会 企業人も地域人！～企業と地域のハイブリッド～

- 基調講演 認定特定非営利活動法人 日本NPOセンター 代表理事 早瀬 昇
- 討論会
- コーディネーター 特定非営利活動法人 全国コミュニティライフサポートセンター（宮城県仙台市） 理事長 池田 昌弘
- 助言者 塙山学区住みよいまちをつくる会（茨城県日立市） 会長 西村ミチ江
- 討論者 豊田市生涯学習センター 逢妻交流館 館長 小倉 弘子  
公益財団法人 あすて 石黒 秀和  
トヨタ紡織株式会社デザイン部 部長 平井 慎司

## 第2分科会 地域で育むふくし教育～人(が)やさしく、人(に)やさしい地域づくり～

- 基調講演 車いすのアーティスト 佐野 有美
- シンポジウム
- コーディネーター 市民福祉教育研究所（岐阜県関市） 主宰 阪野 貢
- 助言者 社会福祉法人 藤里町社会福祉協議会（秋田県藤里町） 事務局長 菊池まゆみ
- シンポジスト 豊田市立拳母小学校 教諭 松井 良仁  
社会福祉法人 豊田市福祉事業団 障がい者総合支援センター 暖 主任 渡邊 恒也  
特定非営利活動法人 ワーワー 理事長 藤原ますみ  
社会福祉法人 豊田市社会福祉協議会 地域福祉課 係長 大谷 和弘

9:30～12:30

## 第3分科会 備えよ、常に！あなたのまちの近助(所)が大事～寄り添うことから始めよう～

- 基調講演 パーソナリティ・書家 矢野きよ実
- シンポジウム
- コーディネーター 社会福祉法人 神戸市社会福祉協議会 地域福祉課（兵庫県神戸市） 主事 長谷部 治
- 助言者 特定非営利活動法人 愛知ネット 事務局長 寺田 康生
- シンポジスト 豊田市自主防災会連絡協議会 専門指導員 谷澤 茂樹  
あいち防災リーダー会 三河 宮地 成美  
トヨタ自動車株式会社トヨタボランティアセンター 渡会友理子  
社会福祉法人 豊田市社会福祉協議会 地域福祉課 係長 栗本 浩一

## 第4分科会 「地縁」「近縁」「知縁」～支え合う地域のための3つの縁～

- 課題確認 地域の生活課題を実行委員会メンバーによる寸劇で確認します。
- シンポジウム
- コーディネーター 名古屋医専教官・名古屋短期大学非常勤講師 山村 史子
- 助言者 ボランティアグループすずの会（神奈川県川崎市） 代表 鈴木 恵子
- シンポジスト パスまちサロン会 副会長 山田 良稲  
石畳自治区 ふれあい部長 有田美喜子  
社会福祉法人 豊田市社会福祉協議会 地域福祉課 課長 中田 繁美



## 分科会 1

### 企業人も地域人！～企業と地域のハイブリッド～

近年、企業の社会的責任(CSR)の重要性が打ち出されるなかで、企業の社会貢献活動による地域づくりや地域活性化などの取り組みが行われ、企業と地域のパートナーシップの有効性が注目されています。

この分科会では、企業のCSRによる社会貢献活動や、企業と地域の融合の視点から、企業人が“自宅”と“会社”の往復のみではなく、自分の暮らしているまちにも関心を示し、「地域を構成する一員」との認識を抱き、地域とのつながりをつくる「脱！振り子人生」に向かう道筋を探っていきます。

#### ①基調講演

認定特定非営利活動法人 日本 NPO センター 代表理事 早瀬 昇

大阪府出身。1978年より、市民活動の総合支援・推進団体、大阪ボランティア協会に勤務しています。1991年に事務局長就任後、同協会内に「企業市民活動推進センター」を創設して企業人の市民活動への参加促進、企業とNPOの協働推進に努めています。日本NPOセンター代表理事、大阪ボランティア協会常務理事、日本ファンデレイジング協会副代表理事、関西大学経済学部客員教授、日本NPO学会理事、日本福祉教育・ボランティア学習学会理事、「新しい公共」推進会議構成員、「新しい公共支援事業」運営会議委員などを務め、さまざまな分野で活躍中です。



#### ②討論会

コーディネーター

特定非営利活動法人 全国コミュニティライフサポートセンター  
(宮城県仙台市) 理事長 池田 昌弘

助言者

塙山学区住みよいまちをつくる会  
(茨城県日立市) 会長 西村ミチ江

#### 豊田市生涯学習センター 逢妻交流館 館長 小倉 弘子

豊田市逢妻地区は大規模工場と共存した職住一体型のまちです。生涯学習センター逢妻交流館で毎年行われる逢妻女川クリーン活動は、1993年頃より逢妻の環境美化活動として、地域住民はもとより近隣の学校や企業の方々へと協力の輪が広がって今日にいたります。

逢妻地区の企業人は、三大事業(逢妻女川クリーン活動・ふれあいまつり・成人式)をととして、自分の働く地域での社会貢献活動として積極的に参加し、豊かな社会づくりに貢献しています。



#### 公益財団法人 あすて 石黒 秀和

あすては、1966年に「勤労センター憩の家」として、「働く人々に憩いの場を与え、ひいては地域社会に貢献すること」を目的に地元企業の賛助によって設立されました。現在は誰もが参加できるボランティア活動実践の場として、「国際」「ものづくり」「環境」などさまざまなテーマのボランティア活動を推進しています。また、1994年にスタートした「ものづくりなぜ?なぜ?プロジェクト」では、子どもたちに豊田市ゆかりのものづくりを学んでもらっており、自動車チームでは100人を越す現役技術者が休日を利用しボランティアで指導にあたっています。



#### トヨタ紡織株式会社デザイン部 部長 平井 慎司

「決して無理せず、できることは惜しみなく、自分自身が楽しみながら」を信条とし、人間同士のふれあいが感じられる活動を中心に実施しています。企業の社会貢献におけるボランティア活動として、「ダウン症児との交流」をはじめ、障がい者の方と楽しむ「友にともに企画」、「救援食料回収活動」等に参加しています。プライベートでは、高橋地区の給食ふれあいサービス「ぬくもりの会」、自身のライフワークである、少林寺拳法を通じた青少年育成活動に日々取り組んでいます。企業での社会貢献のみでなく、地域での活動もたいせつにしています。



## 分科会 2

### 地域で育むふくし教育 ～人(が)やさしく、人(に)やさしい地域づくり～

「ふくし」を、高齢者や障がい者といった特定の人のための言葉だと考えていませんか?ふくしは、「㊦だんの㊧らしの㊨あわせ」と言われるように、普段の暮らしにあるもの、全ての人に関係することです。

ふくし教育が生む「地域のつながり」は、周りの人をたいせつに想う気持ちを育み、一人ひとりが地域住民としての自覚を抱き、「ともに生きる明るい社会」を創り出します。

この分科会では、地域の誰かが関係のある『「ふくし教育」とは何か』を改めて見つめ直し、互いに認め合う地域づくりについて考えていきます。

#### ①基調講演

車いすのアーティスト 佐野 有美

1990年4月6日生まれ。愛知県出身。先天性四肢欠損症で生まれ、あるのは短い左足と3本の指のみ。高校在学中、チアリーディング部に所属し「車椅子のチアリーダー」として地元マスコミで話題となりました。2011年6月、自らの詩集『あきらめないで』から選ばれた詩が曲になり、メジャーデビュー。シングル「歩き続けよう」、アルバム「あきらめないで」としてCDを発売。アルバムは2011年、第53回、輝く!日本レコード大賞の「企画賞」を受賞。現在、テレビ・新聞・雑誌などメディアの取材、多方面からの歌や講演依頼を受け積極的に活動中です。



#### ②シンポジウム

コーディネーター

市民福祉教育研究所  
(岐阜県関市) 主宰 阪野 貢

助言者

社会福祉法人 藤里町社会福祉協議会  
(秋田県藤里町) 事務局長 菊池まゆみ

#### 豊田市立挙母小学校

教諭 松井 良仁

挙母小学校では、10年前から、5年生の総合的な学習の時間に「ともに生きる」というテーマで、地域の福祉施設と交流しています。利用者さんや支援員さんとのふれあいをとおして見つけたことや思ったことを学び合い、障がいのある方に、1人の人間として親しみを感じるようになっていく子どもたち。挙母小の子どもたちにとって、なくてはならないたいせつな学びとして、これからもずっと継続していきたいです。



#### 社会福祉法人 豊田市福祉事業団 障がい者総合支援センター 暖 主任 渡邊 恒也

重症心身障がいのある18歳以上の方が通っています。「どんなに障がいが重くても地域の中で役割を持つ」をモットーに、利用者が講師になり、交流館講座や夏休み工作教室を開催しています。また、地元の小学校との交流では、市駅周辺を車いすで移動し、バリアフリーの重要性を伝えています。そして、利用者の方々との地域生活を支え続けることが、私たちの役割です。



#### 特定非営利活動法人 ワーワー

理事長 藤原 ますみ

2000年2月、法人の前身である障がい児地域活動グループ「WA3(ワーワー)」を立ち上げ、地域のイベントや学校行事などに積極的に参加し、地域住民の理解を得ることができました。そのお陰で2012年4月から始めた地域活動支援センターWA3\*in(わいは)には、地域の方々さまざまな関わり方で協力してくれていて、利用者は「笑顔」で感謝の気持ちを伝えています。プライベートでは障がいのある長女と長男次女の3人の子の母です。



#### 社会福祉法人 豊田市社会福祉協議会 地域福祉課 係長 大谷 和弘

豊田市社会福祉協議会は、「福祉実践教室」のような子どもに対する福祉学習をはじめ、子どもから高齢者までさまざまな人たちが地域の中で思いやりの心を育むことができるよう福祉教育を推進しています。地域の皆さんが地域に住んでいる一員として自分が住んでいる「まち」に関心をもち、そこに住んでいる人たちを認め合い、思いやり、支え合う地域をつくることのできるよう、地域の中で「ともに学び合う」視点をたいせつにして活動を展開しています。





## 分科会 3

# 備えよ、常に!あなたのまちの近助(所)が大事 ~寄り添うことから始めよう~

さんじょ

たびたび、大地震・集中豪雨・竜巻等で大きな被害を受ける日本列島。大規模災害の発生時には、「国・県・市等の支援(公助)にのみ頼るのではなく、自分の身は自分で守ること(自助)や、住民同士の助け合い(共助)こそが、地域にとつての活力になっていた」との声を多く聞きます。この分科会では、過去の災害の教訓をふまえ、「顔が見える関係」を平時からつくることによる近隣住民同士の助け合いのたいせつさや、「災害に備えた、災害に強い地域づくり」の構築について考えていきます。

### ①基調講演 パーソナリティ・書家 矢野 きよ実

名古屋市大須生まれ。

飾らないトークが大人気で、さまざまな番組のパーソナリティを務めており、書道家としても数多くの賞を受賞しています。「被災地支援」で私たちにできることは「忘れないこと・想うこと」であると捉え、東日本大震災直後から被災地へ入り、宮城・岩手・福島の子どもたちと書で心の声を聞く授業を行っています。髭の殿下寛仁親王が、ご自身で大居間外壁に矢野きよ実の書「生きている生きてやる生きたい君のために」を飾られ力にされていました。震災を過去のものにしないために、全国で展示・講演会を行っています。



### ②シンポジウム

#### コーディネーター

社会福祉法人 神戸市社会福祉協議会  
地域福祉課(兵庫県神戸市) 主事 長谷部 治

#### 助言者

特定非営利活動法人 愛知ネット  
事務局長 寺田 康生

#### 豊田市自主防災会連絡協議会

専門指導員 谷澤 茂樹

豊田市自主防災会連絡協議会は、市内の自主防災会をもって組織された団体で、自主防災活動の一層の充実を図ることを目的としています。自主防災会は、自分たちの住んでいる地域を「安全で住みよい、災害に強いまち」にするための、住民を主体とする組織です。取り組みは地域によってさまざまで、上郷大成自治区では、有志の地元企業に災害発生時に協力し合える組織づくりを呼びかけ、復旧活動を迅速に行えるような体制を構築しています。



#### あいち防災リーダー会(三河)

宮地 成美

あいち防災リーダー会(三河)は、愛知県防災局が開設している「あいち防災カレッジ」等を修了して、地域の防災力向上のために活動している三河地区の人たちの集まりです。災害に対する正しい知識や防災活動の技術を習得し、リーダーとして地域の防災活動の中心を担い、平時は地域の行政等と協力して、地域住民の減災啓発として防災知識の普及や意識の向上に努め、災害に強いまちづくりに自主的に関わっています。また、災害発生時は、地元の自主防災組織等と協力して、いち早い情報の発信・避難・救助・復旧活動を自主的に行うこととしています。



#### トヨタ自動車株式会社トヨタボランティアセンター 渡会 友理子

「思いやりの心」を「誰もが普通に発揮できる社会」の実現に向け、ボランティア活動の理解を深める啓発活動・情報提供・サークル活動支援を主な活動内容として実施しています。災害関係では、被災を少しでも減らすべく、意識啓発を目的とした災害ボランティア体験イベント等を実施・展開して、「災害を身近なものとして捉えること」や「災害時に自分にできることは何か」を考えていただけるような取り組みをしています。



#### 社会福祉法人 豊田市社会福祉協議会 地域福祉課 係長 栗本 浩一

豊田市社会福祉協議会では、東海豪雨・新潟中越地震・岡崎水害そして先の東日本大震災などで「できる支援」をその都度おこなってきました。各地の人々と関わるなかで見てきた「地域の人々の支え合いの底力」や「現場に行ってみないとわからない苦労」などを「学び」として、高齢者や障がい者、子どもたち、外国人そして地域の防災組織や家庭での備えなど、今、自分たちにできることは何か?そしてどんなことに取り組んでいくのかを「減災で福祉」の視点で地域福祉を展開しています。



## 分科会 4

# 「地縁」「近縁」「知縁」~支え合う地域のための3つの縁~

ち えん

ち えん

ち えん

えん

消費者被害、引きこもり、孤立死、徘徊死、高齢者・児童虐待、ゴミ屋敷など多様な生活課題・福祉課題を抱える地域社会において、“わたし個人の問題”ではなく、“わたしたちの問題”という認識をいただくことで、解決への一歩につながるキーワード探しを一緒にしてみませんか?

この分科会では、中山間地や新興住宅地での取り組みを参考に、近くのつながり、顔が見える関係づくり、知り合うことのたいせつさを再確認していきます。

### ①課題確認

地域の生活課題を実行委員会メンバーによる寸劇で確認します。

### ②シンポジウム

#### コーディネーター

名古屋医専教官・名古屋短期大学非常勤講師  
山村 史子

#### 助言者

ボランティアグループすずの会  
(神奈川県川崎市) 代表 鈴木 恵子

#### パスまちサロン会

副会長 山田 良裕

同級生の飲み会で「地元(豊田市稲武地区)で、何か楽しいことがしたいな」との話が盛り上がり、この趣旨に賛同した仲間とパスまちサロン会を発足しました。そして、空き家を修繕し、バスの待合所兼子どもから高齢者まで誰もが交流できる場所「ちょっとよって館」を設立しました。また、住民にバスを利用して地元の良さを再発見してもらおうと「ミステリーツアー」を開催しています。そのほかにもイベントを企画したり、地元で行われるイベントも積極的に参加するなど地元を盛り上げようと活動しています。



#### 石畳自治区

ふれあい部長 有田 美喜子

豊田市藤岡地区にある石畳自治区は、市の北部に位置する豊かな自然に囲まれた地域です。昔からある住宅と新興住宅に約360世帯1,200人が住んでおり、自治区長をはじめ16人の役員で構成された自治区です。2010年度より近所支え合い事業に取り組み、いざという時のために常日頃から助け合える地域を目指して、組単位での親睦会・パーク・環境美化活動後の家族交流会など、区民のつながりを深める活動をしています。



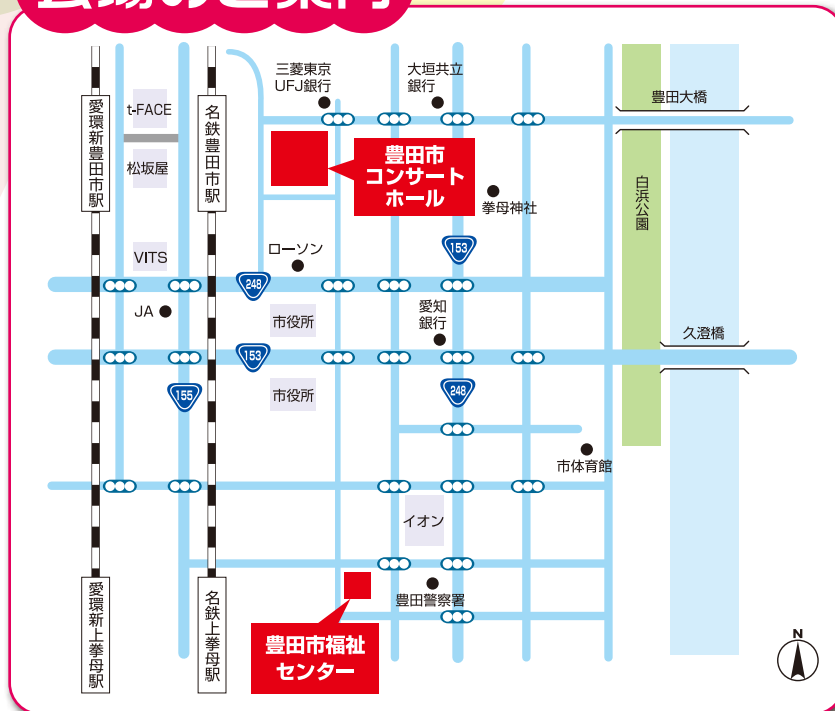
#### 社会福祉法人 豊田市社会福祉協議会 地域福祉課

課長 中田 繁美

豊田市社会福祉協議会では、「住民が主役となつて、いつまでも住み続けたいまちづくりの実現」に向けて、地区コミュニティ会議福祉部会の活動や自治区が主体となった活動を支援するとともに、「地域ふれあい通所事業」や「近所支え合い事業」を推進してきました。今後、急速に進展していく少子高齢化社会を見据えて、「わたし」たちのまちを、みなさんと一緒に考えていきたいと思います。



## 会場のご案内



### 第1日目(全体会) 豊田市コンサートホール

〒471-0025 愛知県豊田市西町1丁目200番地 豊田参加館10・11階

- 名鉄「豊田市」駅前
- 愛知環状鉄道「新豊田」駅から、徒歩5分
- 東名高速道路「豊田インター」から、車で15分

### 第2日目(分科会) 豊田市福祉センター

〒471-0877 愛知県豊田市錦町1丁目1番地1

- 名鉄「豊田市」駅から、「中心市街地玄関口バス」で「豊田市福祉センター」下車
- 愛知環状鉄道「新豊田」駅、または名鉄「豊田市」駅から、徒歩20分
- 名鉄「上<sup>うわごころも</sup>拳母」駅から、徒歩10分
- 愛知環状鉄道「新上<sup>うわごころも</sup>拳母」駅から、徒歩15分

※混雑が予想されますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。

※団体バスでのご来場の場合は、必ず事前に実行委員会事務局までご連絡ください。

参加定員

900人

### 内容に関するお問い合わせ先

「地域密着型福祉全国セミナーin豊田」実行委員会

事務局：(特非)全国コミュニティライフサポートセンター(担当:田村・小野寺)

〒981-0932 宮城県仙台市青葉区木町16番30号 シンエイ木町ビル1階

TEL:022-727-8730 FAX:022-727-8737 URL:<http://www.clc-japan.com/>